

令和7年度 乾隆小学校 学校経営方針

京都市学校教育の重点 目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

学校教育目標

「未来に向かって 楽しく学びを深め合い 努力する 乾隆の子」
～『ワクワク』があふれる「チーム乾隆」～

育成をめざす資質・能力

対話力(話す、聴く力・ICT 活用力)

主体性

粘り強さ

目指す子ども像

◇自分で考え行動・挑戦し、最後までがんばる子 ◇人・物・自分を大切にする子

すべては、乾隆小の子どものために

目指す学校像

☆子どもの命を守り切り、支え合い、誰一人取り残されない学校

○子どもがいいきと楽しく学び合える学校
(ワクワクをつなげる)

○保護者、地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校

目指す教職員像

☆主体性、相手意識、実践力を身につけ協働できる教職員

○子どもや保護者、教職員の気持ちを想像できる教職員

○子どもを成長させる取組を創造できる教職員

○みんなで学校を作ろうとチームで動ける教職員

家庭・地域との連携

教職員の責任と自覚

確かな学力(知)

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を進めながら学びの質を高める。
- 日々の授業と家庭学習との連動を通して自学自習の習慣化を目指した取組を推進する。
- 学校図書館の活用を指導計画の中に位置づけ実践を進める。
- ICT 機器等を効果的に活用した学習活動を充実し、情報活用能力を育てる取組を推進する。
- 子どもの特性に応じた支援や教育を充実させる。
- 自然体験活動や地域の人材や教材を生かした体験活動教育活動を展開する。

豊かな心(徳)

- 支え合い高め合う集団づくりを推進する。
- 規範意識の醸成・育成を進める。
- 3つの「あ」の取組の充実を図る。
(あいさつ・ありがとう・あとかたづけ)
- 学校のきまりについて全教職員共通理解のもと指導を徹底する。
- 道徳教育の充実「道徳」の時間を核として学校教育全体で取り組む。
- 豊かな感性・情操を育む教育の充実を図る。
- 感動したことを表現する場を設定し、実践する。
- 情報モラルや人権学習を通して、人権意識を高める取組を推進する。

健やかな体(体)

- 早寝・早起き・朝ごはん等、基本的生活習慣を身につけさせる。
- 運動やスポーツの実践と体力の向上を図る。
- 防災教育・安全教育・防災管理を充実する。
- 自分の体や命の大切さを知る学習など保健教育を推進する。
- 食に関する指導を推進する。
- 部活動・スポーツ教室を継続する。

教育目標実現に向けた取組の重点 ～『知・徳・体』の調和のとれた子どもの育成～